



今年も残すところあと一ヶ月ですね。何かとあわただしい師走、子どもたちにとっては、生活発表会を皮きりに、クリスマスなどお楽しみがいっぱいの月ですが、全国的にインフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症が流行しています。年末年始は外出や来客なども多く、生活リズムが乱れがちです。体調管理には十分気を配っていきたいですね。

## 11月の健康状態について

11月は、発熱や咳・鼻水などの風邪症状が見られるお子さんが多くなっています。また、インフルエンザに罹られたお子さんが増えてきています。中には溶連菌感染症と同時に罹患されたお子さんもおられました。

インフルエンザ罹患後の登園のめやすは発症したのち5日を経過し、かつ熱が引いてから3日を経過していることです。

11月に入ってから急激な冷え込みにより、体調を崩すことも考えられますので、体調管理には注意していきたいですね。登園時、および帰宅後のうがい・手洗いを習慣づけられるよう、ご家庭でもお声掛けをお願いします。

## 内科健診を行いました

11月8日に秋の内科健診を行いました。風邪などの症状があるお子さんは少なく、元気で良好とのことでした。岡田先生より予防接種についてお話がありました。

### ・水痘の2回目の接種

(標準的には1回目のあと6~12ヶ月間隔をおいてから)

### ・麻疹・風疹の第2期の接種

(小学校就学前の1年の間で実施 **けやき組が対象**)

忘れずに接種しましょう



## 歯科健診分析結果より

宮城野区家庭健康課の歯科医師と保健師さんが来訪され、歯科健診の分析結果をいただきました。別紙をご覧ください。今年度はれんげ組からいちよう組まででむし歯があるお子さんはいませんでした。素晴らしい事ですね！しかし、けやき組は仙台市全体の平均より有病率・一人平均むし歯数が共に高くなっています。むし歯の原因として①朝食を食べず歯みがきをしない②日頃から甘味飲料を摂取する機会が多い③歯みがきに十分な時間をかけず、仕上げみがきをしていないなどがあげられます。そのためむし歯予防には歯みがきに加え**食習慣・生活リズムを整える事**が大事になります。これには保護者の方の協力が必須となります。また3歳以上になったからと言ってもまだ一人で上手に歯みがきはできません。引き続きご家庭で仕上げみがきをしていただきますようお願いいたします。

園では現在3歳以上児クラスは給食後に歯みがきを実施し、2歳児は給食後の水うがい、4歳、5歳児はフッ化物洗口も実施しています。フッ化物洗口の実施園ではむし歯のお子さんが少ないという統計があります。継続してむし歯予防に努めていきたいと思っております。

## 冬の保育室の温度、湿度管理について

保育室内の至適温度は冬期20℃～23℃、湿度は約60%にするのが望ましいと言われています。園ではエアコンと床暖房（1階の保育室と廊下、ホールのみ）天井から霧状に噴き出す加湿器の使用と換気をして管理しています。冬はお肌が乾燥しますので適宜スキンケアを行いましょう。

## スキンケア

### ●入浴ポイント

毎日の入浴で体を清潔に保つことは大切ですが、洗浄力の強い石けんやボディソープで洗うと、かえって肌を乾燥させます。洗浄力がゆるやかで刺激の弱い物を少量、よく泡立ててから使いましょう。

### 乾燥対策のポイント

湿度が50%以下になると、皮膚の乾燥が始まると言われています。加湿器の使用や洗濯物の部屋干しなどで、室内の湿度調節を行い、衣類は通気性がよい物を選びましよう。医師や薬剤師に相談して、子どもの肌質や年齢に合った保湿剤を見つけておくのもよいでしょう。

## 冬のあせも・とびひ

あせもやとびひと言えば、夏場のイメージが強いですが、最近は暖房や厚着が原因で、冬場でもなる子どもが多いようです。子どもは代謝がよく、たくさん汗をかくので、服装は大人より一枚少なめが基本です。時々背中に触れて、汗をかいてないかどうか確認をしましよう。痒くて掻いた傷からとびひになることがあります。皮膚を清潔にして、爪を短く切っておきましよう。



## しもやけ・あかぎれ

手を濡れたままにしておくと、しもやけやあかぎれになることがあります。手洗いや入浴後にはしっかりと水分を拭き取り、保湿剤を塗りましよう。毎日お風呂でよく温まり、ビタミンEを含む食品を摂るとよいです。にら、かぼちゃ、ほうれん草、卵、マーガリンなどがお勧めです。



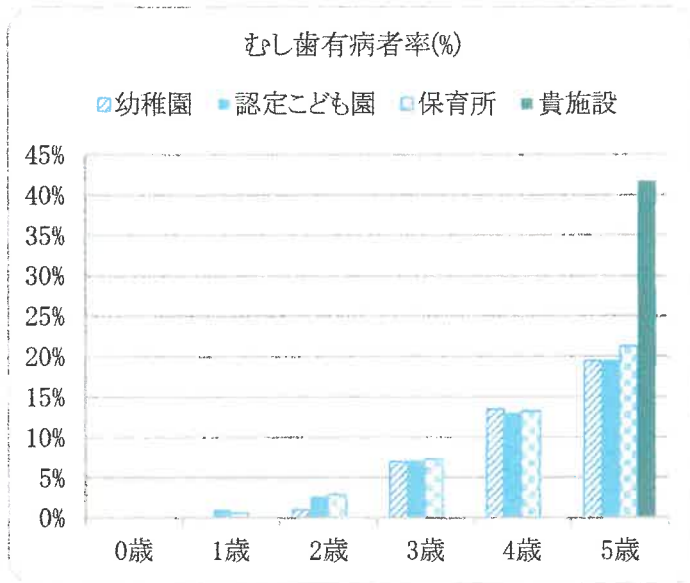
# 令和 5 年度

## 鶴ヶ谷はぐくみ保育園 歯科健診分析結果

### 1.むし歯の状況

(1) 年齢別のむし歯の有病者率について (図1)

仙台市全体の幼稚園・認定こども園・保育所の各集計結果との比較です。

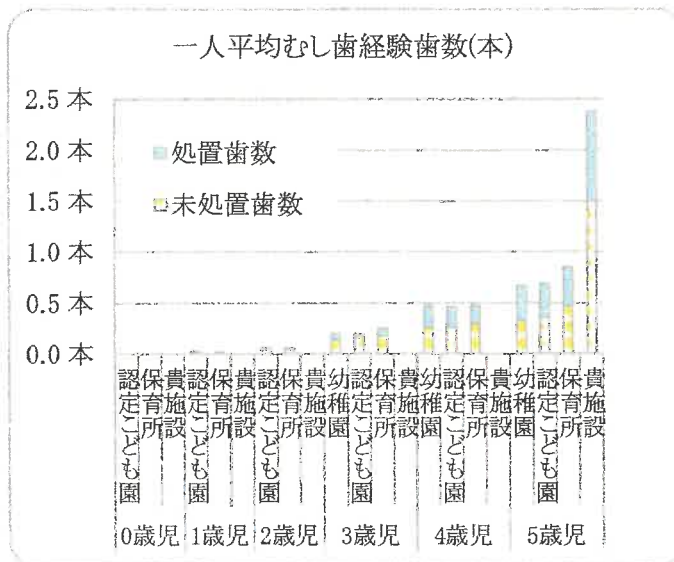


年齢	幼稚園	認定こども園	保育所	貴施設
0歳	0.0	0.0	0.0	0.0
1歳	0.0	1.0	0.6	0.0
2歳	1.0	2.7	2.9	0.0
3歳	7.0	7.1	7.3	0.0
4歳	13.5	13.0	13.2	0.0
5歳	19.4	19.6	21.2	41.7

むし歯有病者率(%) : むし歯になっている歯や治療済みの歯がある子供の割合

(2) 一人平均むし歯経験歯数について (図2)

仙台市全体の幼稚園・認定こども園・保育所の各集計結果との比較です。



年齢	幼稚園	認定こども園	保育所	貴施設
0歳	0.00	0.00	0.00	0.00
1歳	0.03	0.02	0.00	0.00
2歳	0.06	0.06	0.00	0.00
3歳	0.20	0.20	0.25	0.00
4歳	0.47	0.46	0.47	0.00
5歳	0.67	0.69	0.85	2.38

むし歯経験歯数(本) : 未処置のむし歯+処置済みの歯の数

#### 【グラフの見方・コメント】

図1 : 全体と比べて、有病者率が高い年齢を確認します。

図2 : 全体と比べて、一人平均むし歯数が多い年齢と、未処置歯数・処置歯数の割合を確認します。

0歳から4歳児まではむし歯ゼロで良好な状態です。5歳児の有病者率は仙台市全体の平均より高い状態で、一人平均むし歯数も多くなっています。



(3) 過去3年間のデータの比較です。(図3.4)

図3 有病者率 年次推移

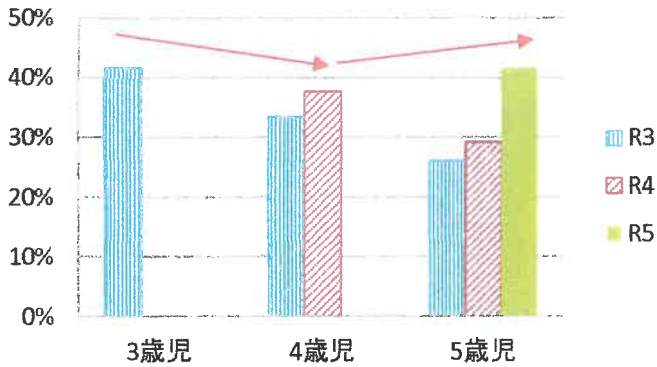
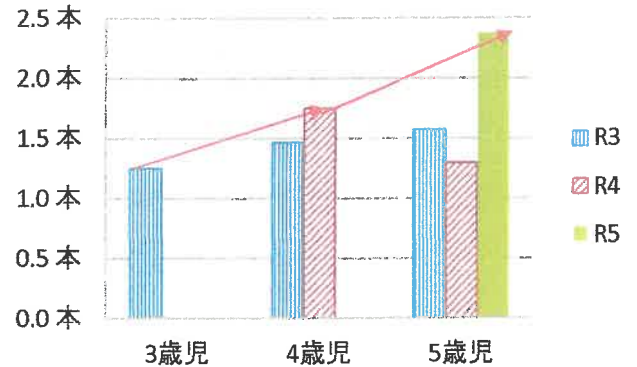


図4 一人平均むし歯数 年次推移



(4) 10本以上むし歯のある者

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
人数	0	0	0	0	0	1	1

2.要観察歯 (CO) のある者

要観察歯：むし歯とは判定しにくい初期のむし歯の病変の存在がみとめられるもの

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
要観察歯のある者	0	0	2	1	1	3	7

3.その他の歯科疾患について

- (1) 歯列咬合      要観察・要精検      20 人
- (2) 歯垢の付着      要観察・要指導      19 人
- (3) 歯肉炎      要観察・要指導      2 人

【グラフの見方・コメント】

図3・4：各年齢別に有病者率、一人平均むし歯数の推移を確認します。

今年の5歳児は3歳時点でむし歯有病者率が高い状態でしたが、そこから増加にはいたっていません。しかしながら一人平均むし歯数は毎年増加しており、むし歯のある児が一人で多数のむし歯を有していることがわかります。

4.仙台市の5歳児の状況

仙台市の各区の5歳児のむし歯の状況です。

\*宮城地区・・・  
青葉区宮城総合支所管内

\*秋保地区・・・  
太白区秋保総合支所管内  
(参考値：2施設のみ)

